

国立民族学博物館研究報告 vol.18-2; 表紙, 目次ほか

雑誌名	国立民族学博物館研究報告
巻	18
号	2
発行年	1993-12-22
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009197

1993—18_卷2_号

国立民族学博物館 研究報告



二種類の植物隠喩

——リオ族における二重出自と非対称縁組—— 杉島敬志

東日本における樹皮利用の文化

——加工技術の体系と伝統—— 名久井文明

侗族住居空間構成的調査報告—— 黄才贵

Ethnic Identity in a Complex Society: The Badaga Case—— Paul Hockings



国立民族学博物館

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園 TEL. 06-876-2151

国立民族学博物館研究報告

18 卷 2 号

1993 年

目 次

二種類の植物隠喩

——リオ族における二重出自と非対称縁組——……………杉島敬志……………183

東日本における樹皮利用の文化

——加工技術の体系と伝統——……………名久井文明……………221

侗族住居空間構成的調査報告……………黄才贵……………303

Ethnic Identity in a Complex Society: The Badaga Case……………Paul Hockings……………347

彙 報……………365

国立民族学博物館研究報告寄稿要項……………371

国立民族学博物館研究報告執筆要領……………372

BULLETIN OF THE NATIONAL MUSEUM OF ETHNOLOGY

Vol. 18 No. 2

1993

SUGISHIMA, Takashi	Two Kinds of Botanical Metaphors: Double Descent and Asymmetric Alliance among the Lionese of Central Flores	183
NAKUI, Bunmei	Systematic Study of Bark Processing in Eastern Japan	221
HUANG, Caigui	A Report on the Spatial Structure of the Residences of the Dong People	303
HOCKINGS, Paul	Ethnic Identity in a Complex Society: The Badaga Case	347

彙 報

(平成5年4月～
平成5年6月)

人事異動

(指定職)

(昇任)

4月1日 館長 佐々木高明
(第二研究部教授, (併) 企画
調整官, (併) 情報管理施設長)

(行政職)

(昇任)

4月1日 久留米工業高等専門学校事務部
長 若月 修
(情報管理施設情報企画課長)

(転任)

4月1日 管理部研究協力課長
加藤 建夫
(京都市立近代美術館庶務課長)

(配置換)

4月1日 情報管理施設情報企画課長
久野 木
(国際日本文化研究センター
管理部研究協力課長)
山口大学庶務部庶務課長
岩本 義男
(管理部研究協力課長)

(教育職)

(名誉教授称号授与)

4月1日 梅棹 忠夫
片倉 素子
大給 近達

(昇任)

4月1日 第一研究部助教授 小長谷有紀
(第一研究部助手)
第二研究部助教授 塚田 誠之
(第二研究部助手)
第三研究部助教授 栗本 英世
(第三研究部助手)

第五研究部助教授 吉田 憲司
(第四研究部助手)

京都大学教授 福井 勝義
(第三研究部助教授)

神戸大学教授 須藤 健一
(第四研究部助教授)

熊本大学教授 櫻井 哲男
(第五研究部助教授)

(採用)

4月1日 第二研究部助手 上杉 富之
第三研究部助手 栗田 禎子
第三研究部助手 新免光比呂

(配置換)

4月1日 第一研究部教授 石毛 直道
(第二研究部教授)
第二研究部教授 杉村 棟
(第三研究部教授)
第二研究部教授 藤井 知昭
(第一研究部教授)
第四研究部教授 藤井 龍彦
(第五研究部教授)

(併任解除)

4月1日 第一研究部教授 石毛 直道
(第二研究部長)
第二研究部教授 藤井 知昭
(第一研究部長)
第二研究部教授 杉村 棟
(第三研究部長)

(併任)

4月1日 企画調整官 藤井 知昭
(第二研究部教授)
情報管理施設長 藤井 知昭
(第二研究部教授)
第一研究部長 石毛 直道
(第一研究部教授)
第二研究部長 杉村 棟
(第二研究部教授)
第三研究部長 和田 正平
(第三研究部教授)

(客員研究部門)

4月1日 第三研究部助教授 大塚 和夫
(東京都立大学助教授)

(外国人客員研究部門)

4月1日 第五研究部教授
HOCKINGS, Paul
(イギリス, アメリカ合衆国
イリノイ大学教授)
〈任期 5. 4. 1~5. 9.15〉

長島 信弘 (4. 9.15~6. 9.14)
原 ひろ子 (4. 4. 1~6. 3.31)
松園万亀雄 (4. 9.15~6. 9.14)
山口 昌男 (4. 9.15~6. 9.14)
米山 俊直 (4. 9.15~6. 9.14)
石毛 直道 (5. 4. 1~7. 3.31)
黒田 悦子 (4. 9.15~6. 9.14)
崎山 理 (4. 4. 1~6. 3.31)
杉田 繁治 (5. 4. 1~7. 3.31)
杉村 棟 (4. 9.15~6. 9.14)
竹村 卓二 (5. 4. 1~6. 3.31)
友枝 啓泰 (4. 9.15~6. 9.14)
藤井 知昭 (4. 9.15~6. 9.14)
松澤 員子 (5. 4. 1~7. 3.31)
和田 正平 (5. 4. 1~6. 9.14)

評議員

氏名	任期
石井 進	(5. 3. 1~6. 9.14)
石川 榮吉	(4. 9.15~6. 9.14)
伊地智善継	(4. 9.15~6. 9.14)
井村 裕夫	(4. 9.15~6. 9.14)
上山 春平	(4. 9.15~6. 9.14)
梅原 猛	(4. 9.15~6. 9.14)
大西 昭男	(4. 9.15~6. 9.14)
岡田 節人	(4. 9.15~6. 9.14)
加藤 秀俊	(4. 9.15~6. 9.14)
金森順次郎	(4. 9.15~6. 9.14)
北村 甫	(4. 9.15~6. 9.14)
木田 宏	(4. 9.15~6. 9.14)
木村 重信	(4. 9.15~6. 9.14)
祖父江孝男	(4. 9.15~6. 9.14)
坪井 清足	(4. 9.15~6. 9.14)
中根 千枝	(4. 9.15~6. 9.14)
樋口 敬二	(4. 9.15~6. 9.14)
本間 長世	(4. 9.15~6. 9.14)
宮田 満雄	(4. 9.15~6. 9.14)

顧問

梅棹 忠夫 (5. 4. 1~)

懇話会委員

粟津 潔 (4. 7. 1~6. 6.30)
勝井 三雄 (4. 7. 1~6. 6.30)
川添 登 (4. 7. 1~6. 6.30)
黒川 紀章 (4. 7. 1~6. 6.30)
小林 公平 (4. 7. 1~6. 6.30)
小林庄一郎 (4. 7. 1~6. 6.30)
小松 左京 (4. 7. 1~6. 6.30)
津田 和明 (4. 7. 1~6. 6.30)
中塚 昌胤 (4. 7. 1~6. 6.30)
伴 恭二 (3. 7. 1~5. 6.30)
堀切 民喜 (4. 7. 1~6. 6.30)
山下 俊彦 (4. 7. 1~6. 6.30)
山田 稔 (4. 7. 1~6. 6.30)
山本 信孝 (4. 7. 1~6. 6.30)
湯浅 叡子 (4. 7. 1~6. 6.30)

運営協議員

綾部 恒雄	(4. 9.15~6. 9.14)
石井 米雄	(4. 5.16~6. 5.15)
伊藤 幹治	(4. 9.15~6. 9.14)
大貫 良夫	(4. 9.15~6. 9.14)
口羽 益生	(4. 9.15~6. 9.14)
谷 泰	(4. 4. 1~6. 3.31)

情報システム運営委員

伊東 太作 (4. 7. 1~6. 6.30)
井上 如 (5. 4. 1~7. 3.31)
及川 昭文 (5. 4. 1~7. 3.31)
大林 太良 (5. 4. 1~7. 3.31)
国井 利泰 (5. 4. 1~7. 3.31)

彙 報

柴田 正美 (3.11.16~5.11.15)
 辻 三郎 (5. 4. 1~7. 3.31)
 久保 正敏 (5. 4. 1~7. 3.31)
 長尾 眞 (5. 4. 1~7. 3.31)
 中野 照海 (4.10. 1~6. 9.30)
 中山 和彦 (5. 4. 1~7. 3.31)
 八村廣三郎 (4.10. 1~6. 9.30)
 星 仰 (3.11.16~5.11.15)
 松村多美子 (4. 7. 1~6. 6.30)
 吉田 将 (5. 4. 1~7. 3.31)
 藤井 知昭 (5. 4. 1~7. 3.31)
 石毛 直道 (5. 5. 1~7. 4.30)
 松澤 員子 (5. 4. 1~7. 3.31)
 栗田 靖之 (5. 4. 1~7. 3.31)
 小山 修三 (5. 4. 1~7. 3.31)
 杉田 繁治 (5. 4. 1~7. 3.31)
 藤井 龍彦 (4. 7. 1~6. 6.30)
 松原 正毅 (5. 4. 1~7. 3.31)
 長野 泰彦 (5. 4. 1~7. 3.31)
 内藤 貞 (5. 4. 1~7. 3.31)

国内資料調査委員

石塚 尊俊 (5. 4. 1~7. 3.31)
 泉 房子 (5. 4. 1~7. 3.31)
 犬塚 幹士 (5. 4. 1~7. 3.31)
 今村 充夫 (5. 4. 1~7. 3.31)
 大城 学 (5. 4. 1~7. 3.31)
 大村 和男 (5. 4. 1~7. 3.31)
 勝部 正郊 (5. 4. 1~7. 3.31)
 萱野 茂 (5. 4. 1~7. 3.31)
 神崎 宣武 (5. 4. 1~7. 3.31)
 木崎 和廣 (5. 4. 1~7. 3.31)
 岸田 定雄 (5. 4. 1~7. 3.31)
 木下 尚子 (5. 4. 1~7. 3.31)
 倉田 亨 (5. 4. 1~7. 3.31)
 小泊 立矢 (5. 4. 1~7. 3.31)
 坂本 育男 (5. 4. 1~7. 3.31)
 坂本 正夫 (5. 4. 1~7. 3.31)
 佐々木長生 (5. 4. 1~7. 3.31)
 佐野 賢治 (5. 4. 1~7. 3.31)
 澤 四郎 (5. 4. 1~7. 3.31)
 篠原 徹 (5. 4. 1~7. 3.31)

下野 敏見 (5. 4. 1~7. 3.31)
 杉本 尚次 (5. 4. 1~7. 3.31)
 鈴木 尚夫 (5. 4. 1~7. 3.31)
 高橋 克夫 (5. 4. 1~7. 3.31)
 立平 進 (5. 4. 1~7. 3.31)
 田中忠三郎 (5. 4. 1~7. 3.31)
 鶴藤 鹿忠 (5. 4. 1~7. 3.31)
 都丸九十一 (5. 4. 1~7. 3.31)
 名久井文明 (5. 4. 1~7. 3.31)
 西村 綏子 (5. 4. 1~7. 3.31)
 野口 光敏 (5. 4. 1~7. 3.31)
 橋本 鉄男 (5. 4. 1~7. 3.31)
 藤本 英夫 (5. 4. 1~7. 3.31)
 山路 興造 (5. 4. 1~7. 3.31)
 和田 正洲 (5. 4. 1~7. 3.31)

館内各種委員会

○長期計画策定特別委員会委員

藤井 知昭 石毛 直道 松原 正毅
 中牧 弘允 秋道 智彌 近藤 雅樹
 栗田 靖之 田邊 繁治 田村 克己
 杉島 敬志 端 信行 吉田 集而
 藤井 龍彦 吉田 憲司 杉田 繁治
 森田 恒之 大塚 和義 吉本 忍
 内藤 貞 小島 栄基 谷本 滋
 故選 義浩

○新展示棟増設特別委員会委員

藤井 知昭 石毛 直道 友枝 啓泰
 杉田 繁治 栗田 靖之 中牧 弘允
 立川 武藏 田村 克己 庄司 博史
 森田 恒之 山本 紀夫 大森 康宏
 谷本 滋 芋野 昭作 久野 木
 故選 義浩

○標本資料委員会委員

石毛 直道 藤井 知昭 竹村 卓二
 中牧 弘允 大丸 弘 吉田 集而
 南 真木人 藤井 龍彦 八杉 佳穂
 森田 恒之 大塚 和義 谷本 滋
 久野 木 故選 義浩

○映像・音響資料委員会委員

杉田 繁治 小長谷有紀 杉島 敬志
 庄司 博司 黒田 悦子 石森 秀三

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大森 康宏 | 吉本 忍 | 小島 栄基 | 崎山 理 | 山本 紀夫 | 長野 泰彦 |
| 谷本 滋 | 五十嵐哲郎 | 故選 義浩 | 加藤 建夫 | | |
- 図書委員会委員
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 杉村 棟 | 松澤 員子 | 熊倉 功夫 | 藤井 知昭 | 石毛 直道 | 杉村 棟 |
| 田邊 繁治 | 上杉 富之 | 大丸 弘 | 和田 正平 | 友枝 啓泰 | 杉田 繁治 |
| 新免光比呂 | 八杉 佳穂 | 石森 秀三 | 内藤 貞 | 小島 栄基 | 加藤 建夫 |
| 崎山 理 | 福川 圭子 | 谷本 滋 | 谷本 滋 | 芋野 昭作 | 久野 木 |
| 五十嵐哲郎 | 故選 義浩 | | 五十嵐哲郎 | 故選 義浩 | |
- 国内資料委員会委員
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 藤井 知昭 | 大丸 弘 | 熊倉 功夫 | 藤井 知昭 | 石毛 直道 | 杉村 棟 |
| 小山 修三 | 大塚 和義 | 山本 紀夫 | 和田 正平 | 友枝 啓泰 | 杉田 繁治 |
| 松山 利夫 | 中牧 弘允 | 秋道 智彌 | 内藤 貞 | 小島 栄基 | 加藤 建夫 |
| 吉田 憲司 | 近藤 雅樹 | 佐藤 浩司 | 谷本 滋 | 芋野 昭作 | 久野 木 |
| 谷本 滋 | 久野 木 | 五十嵐哲郎 | 五十嵐哲郎 | 故選 義浩 | |
| 故選 義浩 | | | | | |
- 情報化委員会委員
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 杉田 繁治 | 藤井 知昭 | 松原 正毅 | 和田 正平 | 田村 克己 | 清水 昭俊 |
| 熊倉 功夫 | 栗田 靖之 | 杉島 敬志 | 小山 修三 | 黒田 悦子 | 崎山 理 |
| 端 信行 | 南 真木人 | 藤井 龍彦 | 内藤 貞 | 加藤 建夫 | |
| 佐藤 浩司 | 大森 康宏 | 山本 泰則 | 友枝 啓泰 | 藤井 知昭 | 重松真由美 |
| 内藤 貞 | 谷本 滋 | 久野 木 | 栗田 靖之 | 柄木田明子 | 佐藤 浩司 |
| 五十嵐哲郎 | 故選 義浩 | | 山本 泰則 | 内藤 貞 | 谷本 滋 |
| | | | 芋野 昭作 | 久野 木 | |
- 展示委員会委員
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|--|--|--|
| 石毛 直道 | 藤井 知昭 | 松澤 員子 | | | |
| 松山 利夫 | 重松真由美 | 立川 武藏 | | | |
| 上杉 富之 | 端 信行 | 江口 一久 | | | |
| 森田 恒之 | 大塚 和義 | 山本 紀夫 | | | |
| 吉本 忍 | 内藤 貞 | 小島 栄基 | | | |
| 加藤 建夫 | 谷本 滋 | 久野 木 | | | |
- 広報・事業委員会委員
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|--|--|--|
| 和田 正平 | 秋道 智彌 | 近藤 雅樹 | | | |
| 田邊 繁治 | 塚田 誠之 | 野村 雅一 | | | |
| 栗本 英世 | 小山 修三 | 吉田 憲司 | | | |
| 朝倉 敏夫 | 泉 幽香 | 内藤 貞 | | | |
| 小島 栄基 | 加藤 建夫 | 谷本 滋 | | | |
| 久野 木 | 故選 義浩 | | | | |
- 出版委員会委員
- | | | | | | |
|-------|-------|-------|--|--|--|
| 友枝 啓泰 | 松澤 員子 | 周 達生 | | | |
| 松山 利夫 | 近藤 雅樹 | 田村 克己 | | | |
| 塚田 誠之 | 吉田 集而 | 野村 雅一 | | | |
| 江口 一久 | 柄木田明子 | 新免光比呂 | | | |
| 清水 昭俊 | 吉田 憲司 | 朝倉 敏夫 | | | |

海外における研究・調査・収集活動

氏名	官職	出発	帰国	行先
吉田 憲司	助教授 (第五研究部)	5. 4.16	5. 5. 1	イギリス
藤井 知昭	教授 (第二研究部)	5. 5. 3	5. 5. 6	中華人民共和国
栗田 禎子	助手 (第三研究部)	5. 5. 9	5. 5.28	イギリス
周 達生	教授 (第一研究部)	5. 5.17	5. 5.26	ベトナム
田邊 繁治	助教授 (第二研究部)	5. 5.21	5. 6. 1	ラオス
森田 恒之	教授 (第五研究部)	5. 5.23	5. 6. 5	ラオス, タイ
杉村 棟	教授 (第二研究部)	5. 5.24	5. 6. 7	イラン
松山 利夫	助教授 (第一研究部)	5. 6. 8	5. 7. 6	ニュージーランド
熊倉 功夫	教授 (第一研究部)	5. 6.11	5. 6.15	大韓民国
秋道 智彌	助教授 (第一研究部)	5. 6.15	5. 6.20	フィリピン
松原 正毅	教授 (第一研究部)	5. 6.20	5. 9.18	中華人民共和国, モンゴル

来館者抄

4月2日	LANGDON, George Dorland, Jr. (アメリカ合衆国, アメリカ自然史博物館長)	4月19日	BODDE Jr., Ingrid (アメリカ合衆国, BODDE Jr., William APEC事務局長夫人)
4月4日	HARWIT, Martin (アメリカ合衆国, 国立航空宇宙博物館長), CROUCH, Thomas (アメリカ合衆国, 国立航空宇宙博物館航空部部長)	4月22日	木村 重信(国立国際美術館長)
4月5日	NOR, Zakiah Hanam (マレーシア, 国立公文書館長)	4月26日	荻野崇一郎(国際交流基金京都支部長)
4月12日	中国作家代表团一行 団長 瑪拉沁夫(中華人民共和国, 中国作家協会主席団委員・書記処 常務書記), 霍 達(中華人民共和国, 北京テレビ芸術センター脚本家), 張 炯 (中華人民共和国, 中国社会科学院文学研究所常務副所長), 林 雨 純(中華人民共和国, 深圳市作家協会主席), 李 錦琦(中華人民共和国, 中国作家協会対外連絡部幹部)	5月7日	増田 義郎(東京大学名誉教授)
4月15日	田中 暢志(鹿児島短期大学附属南日本文化研究所教授)	5月11日	佐竹 昭廣(国文学研究資料館長), 六車 正章(国文学研究資料館管理部長) 李 肖(中華人民共和国, 新疆ウイグル自治区考古研究所研究員), 小野 健吉(奈良国立文化財研究所主任研究員)
		5月13日	タイ教育省国家文化委員会一行 団長 UTHAI, Boonpresert 他36名
		5月14日	尹 紹 亭(中華人民共和国, 雲南省民族博物館研究員)

- 5月18日 吉房 康行（大阪府立弥生文化博物館副館長），渡辺 昌宏（大阪府立弥生文化博物館学芸課長）
長尾 眞（京都大学工学部教授）
（仮称）開設準備室指導主事），山脇 一幸（広島市交通科学館（仮称）開設準備室学芸員）
佐原 眞（国立歴史民俗博物館副館長）
- 5月19日 千田 稔（奈良女子大学文学部教授）
- 5月20日 中国上海交通大学訪日代表团一行 謝 堯 武（中華人民共和国，上海交通大学副校長），盛 振 邦（中華人民共和国，上海交通大学工学院長），庀 有 仁（中華人民共和国，上海交通大学国際交流所副所長）
- 5月21日 松本 幸一（滋賀県今津町教育委員会教育長），西川喜代治（滋賀県今津町教育委員会）
- 5月23日 児玉 純一（宮崎県総合博物館長）
- 5月24日 李 厚 淵（大韓民国，湖巖美術館）他3名
- 5月25日 竹下虎之助（広島県知事），原 時廣（広島県県民生活文化振興室長）
鄭 成 玉（駐大阪大韓民国総領事館領事），李 昌 秀（駐大阪大韓民国総領事館）
- 5月28日 故 偉 姣（台湾，行政院文化建設委員会科長），王 苑 華（台湾，行政院文化建設委員会・技正）
- 6月3日 上村 洋一（広島市交通科学館
- 6月11日 加藤木理勝（国立国会図書館長），小川 元（国立国会図書館長秘書），嶋田 邦彦（国立国会図書館総務部副部長）
- 6月17日 石田 暁恵（アジア経済研究所調査企画室主任調査研究員），佐藤 寛（アジア経済研究所経済協力調査室研究員），高橋 昭雄（アジア経済研究所地域研究部研究員），山崎 幸治（アジア経済研究所総合研究部研究員）他4名
- 6月18日 徳島県那賀郡相生町教育委員会一行 住吉 国男（相生町教育委員会委員長）他19名
- 6月22日 Nguyen Van Ku（ベトナム社会主義共和国，ベトナム社会科学院国際協力部副部長），Ho Hai Thuy（ベトナム社会主義共和国，ベトナム社会科学院国際協力部研究員）
- 6月24日 梅屋 則夫（シルクロード学研究所センター事務局長）
- 6月29日 Ye Tut（ミャンマー連邦，文化省文化施設局長）

国立民族学博物館研究報告寄稿要項

1. 国立民族学博物館研究報告は、民族学（文化人類学）に関する論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等を掲載・発表することにより、民族学（文化人類学）の発展に寄与するものである。
2. 国立民族学博物館研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - (1) 国立民族学博物館（以下「本館」という。）の教官（客員教授等を含む。）及び本館の組織、運営に関与する者
 - (2) 本館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - (3) その他本館において適当と認めた者
3. 原稿を寄稿する場合は、論文、資料・研究ノート、調査研究活動報告等のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、国立民族学博物館研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という。）において行う。（編集する場合は、原則として論文及び資料・研究ノートを1段組、その他のものを2段組として取り扱う。）
4. 原稿執筆における使用言語は、日本語、英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、中国語及びドイツ語のうちいずれを用いても差し支えない。ただし、その他の言語を用いる場合は、編集委員会に相談するものとする。
5. 特殊な文字、記号、印刷方法等が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
6. 寄稿する原稿が論文で、日本語を使用する場合は、原則として英文により500語程度の要旨を付けるものとし、その他の言語による論文の場合は、編集委員会に相談するものとする。なお、寄稿する原稿については、執筆者名のローマ字表記及び原稿表題の英文を付記しなければならない。
7. 寄稿する原稿の枚数は、原則として制限しない。ただし、編集する場合は編集委員会の判断により、紙数等の関係から分割して掲載することがある。
8. 寄稿する原稿は、必ず清書（欧文の場合はタイプ）し、原稿の写し1部を添付するものとする。なお、図、表のシミ入れ、レタリングは、編集委員会で処理する。
9. 寄稿された原稿は、審査委員会において審査のうえ、採否を決定する。なお、原稿は、採否にかかわらず原則として返却しない。
10. 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
11. 原稿の執筆に当っては、別に定める「国立民族学博物館研究報告執筆要領」による。
12. 原稿の寄稿先及び連絡先は、次のとおりとする。

〒565 大阪府吹田市千里 万博公園10-1

国立民族学博物館内

国立民族学博物館研究報告編集委員会（電話 代表06-876-2151）

国立民族学博物館研究報告執筆要領

1. 原稿は、200字詰原稿用紙を使用し、横書きとする。
2. 原稿は、図、表を除き、原則として黒インクを使用する。
3. 日本語を使用して執筆する場合は、原則として当用漢字、現代かなづかいを用いる。
4. 句読点、括弧、各種記号等は、原則として原稿用紙のマス目1字分の扱いをする。
5. 原稿中の年号、月日及びその他の数字は、原則としてアラビア数字を用いる。なお、年号は、原則として西暦とする。
6. 図及び表は、一図、一表ごとに別紙に書き、本文とは別に一括して添付するものとする。なお、図、表ごとに通し番号（「図1」、「表1」等の要領により記入）、図、表名及び説明並びに出典等を記し、本文原稿の欄外には、それぞれのそう入箇所を指定するものとする。
7. 写真は、写りの明瞭なもので、手札判以上の大きさに焼き付けたものに限り、図及び表の扱いに準じて通し番号、説明を付けたうえ、そう入箇所を指定するものとする。ただし、カラー写真は、原則として受け付けない。
8. 本文又は脚注において文献を指示する場合は、カギ括弧を付け、著者名、文献刊行年次、引用ページ数の順に下記の例に従って記載する。

[柳田 1942: 67-69]

[Leach 1961: 123]

[柳田 1942: 67-69, 1944: 20-22; Leach 1961: 123]

ただし、同年次刊行物の場合は、アルファベット順により、下記のように記載するものとする。

[柳田 1942a: 20-22] [柳田 1942b: 10]

9. 脚注は、一つ一つ別紙に記し、通し番号を付ける。なお、本文中に脚注をそう入する箇所には、脚注の当該番号を記入し、別紙の脚注には、本文のページ数を明記するものとする。
10. 本文及び脚注において参照した文献は、すべて原稿の末尾にまとめて下記の方法により記入する。
 - (1) 文献の配列は、著者名のアルファベット順とすること。
 - (2) 文献の記載は、著者名、年号、論題（タイトル）、誌名、巻、号、出版社名の順とすること。

欧文の雑誌名及び単行本名は、イタリック体にするため、原稿には下線を引くこと。また、ローマ字人名は、スモール・キャピタルとするため、二重下線を引き、日本文の場合は、論題にカギ括弧、雑誌名及び単行本名に二重のカギ括弧を付けること。雑誌の巻数及び号数は、原則としてアラビア数字を用いること。

(例)

論文の場合 (1)

石田英一郎

1948 「文化史的民族学成立の基本問題」『民族学研究』13 (4): 311-330.

Bohannan, P.

1973 Rethinking Culture: A Project for Current Anthropologist. Current Anthropology 14 (4): 357-372.

論文の場合 (2)

杉浦 健一

1942 「民間信仰の話」 柳田国男編『日本民俗学研究』岩波書店, pp. 117-143。

Leach, Edmund

1964 Anthropological Aspects of Language: Animal Categories and Verbal Abuse. In Eric H. Lennenberg (ed.), New Directions in the Study of Language, The M. I. T. Press, pp. 23-63.

単行本の場合

泉 靖一

1966 『文明をもった生物』日本放送出版協会。

Murdock, George P. (ed.)

1960 Social Structure in Southeast Asia. Viking Fund Publications in Anthropology No. 29, Wenner-Gren Foundation for Anthropological Research, Inc.

翻訳書の場合

エリアーデ, M.

1974 『シャーマニズム——古代的エクスタシー技術——』堀一郎訳 冬樹社。

van Gennep, Arnold

1960 The Rites of Passage. M. B. Vizedom and G. L. Caffee, trans., The University of Chicago Press.

国立民族学博物館研究報告 18卷 2号

〔監 修〕

佐々木 高 明

〔編集委員長〕

友 枝 啓 泰

〔編集委員〕

朝 倉 敏 夫

江 口 一 久

近 藤 雅 樹

崎 山 理

清 水 昭 俊

新 免 光 比 呂

田 村 克 己

長 野 泰 彦

野 村 雅 一

松 山 利 夫

吉 田 集 而

平成 5 年 12 月 22 日 発 行 非 売 品

国立民族学博物館研究報告 18卷 2号

編集・発行 国立民族学博物館
〒565 吹田市千里万博公園 10-1
TEL 06 (876) 2151(代表)

印 刷 中西印刷株式会社
〒602 京都市上京区下立売通小川東入
TEL 075 (441) 3155(代表)

Bulletin of the National Museum of Ethnology
vol.18 no.2
1993

- SUGISHIMA, Takashi** **Two Kinds of Botanical Metaphors: Double
Descent and Asymmetric Alliance among the
Lionese of Central Flores**
- NAKUI, Bunmei** **Systematic Study of Bark Processing in Eastern
Japan**
- HUANG, Caigui** **A Report on the Spatial Structure of the Resi-
dences of the Dong People**
- HOCKINGS, Paul** **Ethnic Identity in a Complex Society: The
Badaga Case**



**National Museum
of Ethnology**

Senri Expo Park, Suita, Osaka, Japan
phone 06-876-2151

ISSN 0385-180X